

# 令和 6 年度（2024年度）の事業報告書

（令和 6 年4月1日から 令和 7 年3月31日まで）

特定非営利活動法人 環境保全再生フォーラム

## 1 事業の成果

1) ホタル・カワニナ発生地の調査：例年同様、4 月 25 日から 5 月下旬日までホタル発生状況を確認し、発生域、発生ホタル種などを整理した。調査場所は高鍋町を中心に 7 か所でホタル発生状況を調査した。確認されたホタルはゲンジボタルとヒメボタルであった。

2) 源氏ボタルの飼育・繁殖：6月3日に初めての飼育中の源氏ボタルの孵化確認。孵化は約 2 週間続き、この間に孵化数は約200匹で飼育を行った。この幼虫から 2 月段階で確認された幼虫数は合計49匹。生存率は約 2.5割であった。この生存率は去年の 2 割と比べても良くなっている。

3) 宮田川周辺環境整備：昨年に続き環境整備活動は宮田川二本松橋周辺のみで活動している。側道沿いの除草、ごみ拾いを継続しており、同時に植栽活動も行っている。道路に被さる樹木や枯れ枝の除去、水路の整備や山水を受けるタンクの清掃なども行っている。

水路にはカワニナが多く繁殖しており、NPOのカワニナ供給場所になっている。また、他の水生生物（クレソン、小エビ（同定未定）も観察されつつあり、ホタル生育の環境にはなりつつあるが、依然として外部からの光が入ってくる。アジサイも徐々に成長してきており遮光植物になりつつある。

4) 舞鶴公園お堀での源氏ボタル繁殖構想：変更なし。ただ、十分な幼虫が得られていないことから、来年度に作業を継続することとした。

5) 広報活動：当活動紹介、そして 4－5 月期には高鍋の源氏ボタル、ヒメボタルの発生状況の紹介を、ホームページを通して行った。

## 2 事業内容

### (1) 活動状況

月	活動
4	<p>【清掃作業 6 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【ゲンジボタル羽化確認作業】</p> <p>4/30 から 5/5 まで 7 匹のみの発生を確認。全個体を再飼育することにした。</p> <p>【西都原ヒメボタル観察】</p> <p>【ゲンジボタル観察会】</p> <p>4/10 に高鍋町役場有志によるゲンジボタル観察会に同行。高鍋町船塚と西都市逢初川源流付近うい訪問した。参加者は 5 名。</p> <p>【源氏ボタル／ヒメボタル発生観察】</p> <p>調査箇所：高鍋：船塚／羽根田坂／長法寺公園／宿の坂橋／切りバル橋／宮田川 木城：ホタル橋</p> <p>今年の特徴：①昨年に続き、切原橋の近くでゲンジボタルの多くの発生を確認したが、昨年よりも数は少ないように感じた。</p> <p>②二本松橋でのゲンジボタルの発生はなく、放流の効果は認められなかった。</p> <p>③ヒメボタルが少なかった。通常認められるホタル橋や羽根田坂周辺でも発生数は明らかに少ない。</p> <p>【ホタル発生状況 HP で広報】</p> <p>4 月 23 日からホームページにてホタル発生情報の広報を 5 回行う。</p> <p>広報活動は 5/19 まで行った。</p>
5	<p>【清掃作業 6 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【ホタル羽化観察継続。】</p>
6	<p>【清掃作業 1 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【飼育ホタルの孵化確認作業】</p> <p>6 月 7 日に初めての飼育中の源氏ボタルの孵化確認後、6/23 まで孵化確認。捕獲数は 199 匹。会員宅の水槽で飼育開始。</p>
7	<p>【清掃作業 6 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p>

8	<p>【清掃作業 3 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p> <p>【ホタルサミットに参加】</p> <p>11 日：宮崎市で行われた宮崎県内のホタル活動グループの参加した情報交換会に参加。参加数は、県内から 13 組織。当 NPO の活動報告を行った。</p>
9	<p>【清掃作業 7 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>別途、9 日に植栽地（イペー、ジャカランダ）の下草刈り</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p>
10	<p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p>
11	<p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p> <p>10 月、11 月は会員の仕事多忙で清掃作業も行うことができなかったが、<u>冬期の植栽防寒保護のため、イペー、ジャカランダにビニールをかぶせた。</u></p>
12	<p>【清掃作業 7 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p>
1	<p>【清掃作業 11 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p> <p>【飼育ホタル生育状況確認 9 日】</p> <p>生育数は 43 匹であった。とりあえず水槽で飼育。</p> <p>【役場職員との交流会】</p> <p>新年会を兼ねて、役場職員との交流会を実施。NPO 活動について報告を行う。</p>
2	<p>【8 日：古くなった看板更新のための看板作成】</p> <p>【15 日：宮田川沿いの側道での看板設置作業】</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p> <p>【ホタル上陸装置設置 21 日】</p> <p>上陸装置を設置後、飼育中の源氏ボタル幼虫の生存数を確認した。全部で 53 匹の生存を確認した。6 月に確認した 199 匹のうち、53 匹なので、生存率は約 25%であった。</p> <p>13 匹は小さかったので、再飼育のため水槽にもどし、残りの 40 匹を上陸装置で飼育し、4－5 月のホタル羽化を待つことにした。</p> <p>【宮田川作業場での飼育状況確認】</p> <p>宮田川環境整備地域の近くに設置している理事長作業場での、ゲンジボタル幼虫の繁殖状況を確認したが、生存を確認できなかった。山からの流水を利用した飼育を行っており、昨年の失敗事例（そのまま水槽に入れると粘土質の土が水槽底に堆積し、幼虫が死んでしまう）から、水槽を 2 段にして、最初の水槽を沈殿槽とし、飼育を試みたがうまくいってなかった。</p> <p>もう 1 段の沈殿槽を設置して、今年も再飼育を行う予定で考えている。</p>

3	<p>【清掃作業 1 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】水槽を中心に清掃作業を行う。</p> <p>水槽移設：町の雨水処理施設改良に伴い、道路脇に設置していた水槽を移設した。また、ホタル飼育用の水槽の生存確認／泥撤去と清掃を実施した。</p> <p><u>その他</u></p> <p>3/20：植栽防寒用のビニール撤去／下草刈り</p> <p>3/24：アヤメ植栽周辺の下草刈り</p> <p>【ゲンジボタル幼虫飼育】</p> <p>【ホタルの強制上陸 18 日】</p> <p>上陸装置で飼育中の大きな幼虫 10 匹を強制上陸させる。</p>
4	<p>【清掃作業 5 日：宮田川沿いの道路での清掃作業】</p> <p>【残存ホタルのすべてを上陸させる 4 日】</p> <p>水槽に残っていた残存ホタル幼虫をすべて上陸させ、上陸装置内の水槽を撤去。</p> <p>【苔タワー設置 11 日】</p> <p>ホタル羽化後の交尾を促す苔タワー設置。</p>

活動写真 (2024 年 4 月-2025 年 4 月)

	
<p>調査地の源氏ホタル (友人提供写真 4 月)</p>	<p>ホタルサミット参加 (宮崎市 8 月 24 日)</p>
	
<p>通常の宮田川清掃活動 (アジサイ剪定 9 月)</p>	<p>通常の宮田川清掃活動 (除草作業 12 月)</p>
	
<p>看板更新作業 (1 月 15 日)</p>	<p>取り上げた幼虫 (2 月 21 日)</p>
	
<p>上陸装置設置 (2 月 21 日)</p>	<p>苔タワー (4 月 11 日)</p>

(2) その他

- ① ホームページの運営を継続している。ホームページのアドレスは以下の通り。

今年は除草活動などの紹介を含めて計4回更新作業を行い、主にNPOの日常的な活動紹介を行った。本年度、ホームページの閲覧数がのべ1,300名を超えた。

<https://npohotarutakanabe.wixsite.com/takanabe-hotaru>

- ② E-mailを所有した。アドレスは以下の通り。ホームページ更新時には、メールでも町内関係機関へ連絡している。

[npo.hotaru.takanabe@gmail.com](mailto:npo.hotaru.takanabe@gmail.com)